

関西創生のための高速道路ネットワーク の早期整備に関する要望

2020年7月

関西高速道路ネットワーク推進協議会

関西経済連合会
大阪商工会議所
神戸商工会議所
奈良商工会議所
関西経済同友会
大 阪 府
兵 庫 県
奈 良 県
大 阪 市
神 戸 市

関西は、古くからアジアのゲートウェイとして、日本と海外の窓口の役割を果たしてきました。その一方で、日本の三大都市圏の中では、大阪湾岸道路西伸部及び淀川左岸線延伸部など近年事業着手されたばかりの路線が多く、完成までに相当な時間を要し、首都圏及び中部圏と比べて環状ネットワークの整備が遅れています。

関西のヒト・モノの円滑な移動を阻害している阪神間や大阪都心部等における慢性的な渋滞を解消し、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の物流機能強化、関西三空港の連携強化、2025年大阪・関西万博を契機とした広域周遊観光の振興を図るとともに、大規模災害等に備えた強靱な国土づくりを引き続き着実に進めていくためにも、環状ネットワークを早急に整備することが必要不可欠です。

また、加速度的に老朽化が進む既存の高速道路ネットワークについてもその機能を確保するため着実に更新していくとともに、更新の際の代替道路として環状ネットワークを十二分に活用していくことが必要です。

新型コロナウイルス感染症で冷え切った経済を浮上させ、関西を元気にするために、引き続き、地元の理解や協力を得ながら事業が円滑に進むよう、関西の経済界及び自治体の官民が一体となって取り組みますので、下記の事項について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

1. 関西圏の環状ネットワーク形成に必要な下記路線について、早期整備を図ること。
名神湾岸連絡線：早期に事業スキームを決定の上、2021年度の新規事業化
2. 2025年大阪・関西万博の重要なアクセスルートとなる下記路線の予算確保を図ること。
淀川左岸線（2期）：万博までの早期整備に向けた街路事業の予算確保
3. 広域的なネットワークを形成し、関西のインフラが持つストック効果を最大限に発揮させる重要な路線である下記路線の予算確保を行うこと。
大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）：国直轄道路事業の予算確保
：国直轄港湾事業の予算確保
淀川左岸線延伸部：国直轄道路事業の予算確保
4. 上記1～3に掲げる4路線の機能を効果的に発揮させるとともに、関西圏の環状ネットワーク形成に必要な下記路線についても、予算確保を図ること。
大和北道路：国直轄道路事業の予算確保
神戸西バイパス：国直轄道路事業の予算確保
5. 有料道路事業への財政投融資の活用については、高速道路の機能強化（4車線化・6車線化）をはじめ、大都市圏環状道路等の整備加速について、将来的な適用も含め上記1～4に掲げる関西圏の環状ネットワークが対象となるよう検討すること。
また、上記1～4に掲げる関西圏の環状ネットワークの整備財源を確保するとともに、近年頻発する大規模自然災害に鑑み、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の継続及び対象事業の拡充を行うこと。さらに、予防保全への転換に向けた老朽化対策に必要な予算を確保すること。

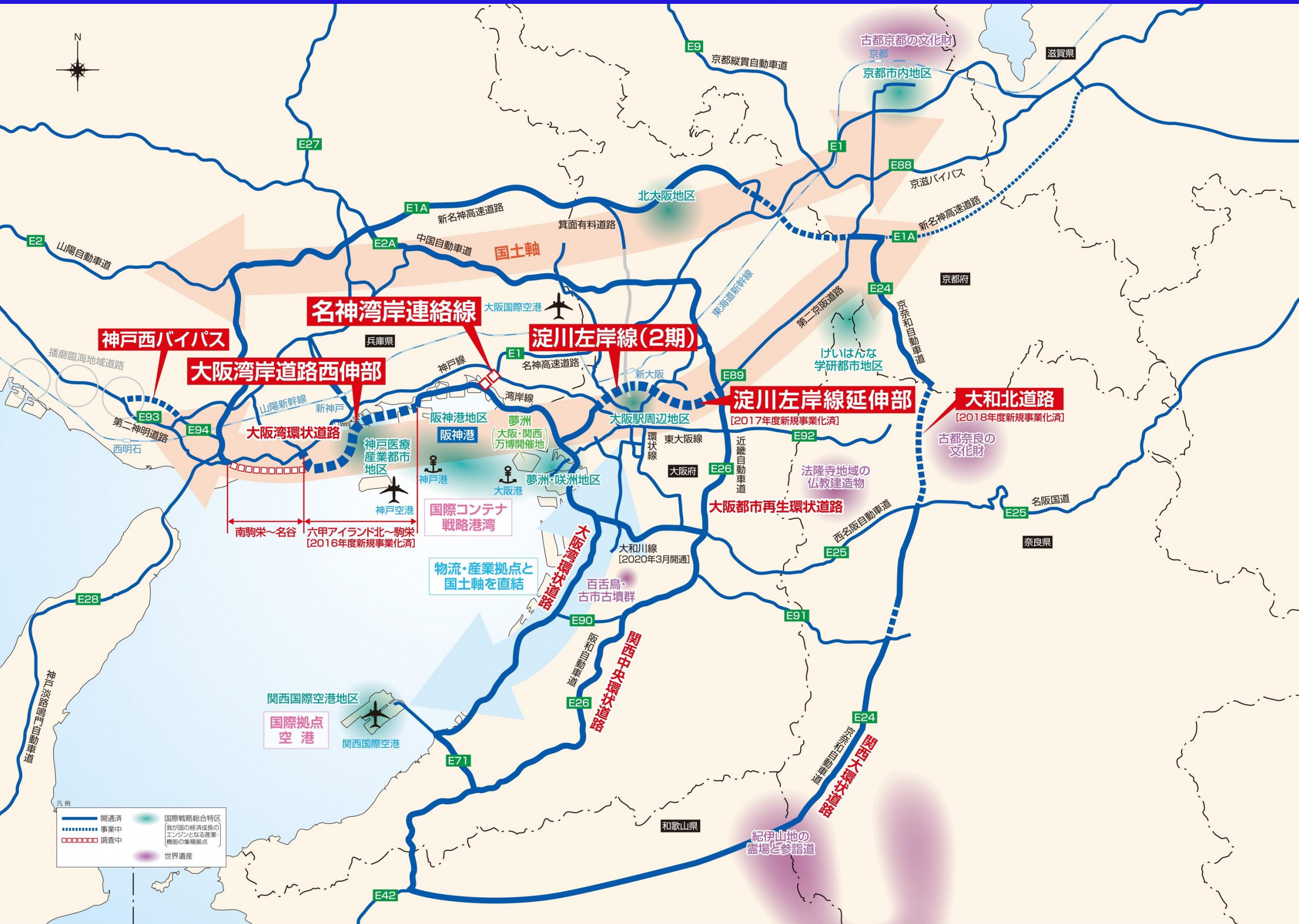
6. 上記路線及び広域的なネットワークを形成する幹線道路について、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、「重要物流道路」に指定された供用中区間及び指定が予定されている事業中・計画中区間について、重点整備、機能強化及び重点支援を図ること。

2020年7月7日

関西高速道路ネットワーク推進協議会

関西経済連合会会長	松本 正義
大阪商工会議所会頭	尾崎 裕
神戸商工会議所会頭	家次 恒
奈良商工会議所会頭	小山 新造
関西経済同友会代表幹事	深野 弘行
同	古市 健
大阪府知事	吉村 洋文
兵庫県知事	井戸 敏三
奈良県知事	荒井 正吾
大阪市長	松井 一郎
神戸市長	久元 喜造

関西圏の高速道路ネットワーク図



凡例

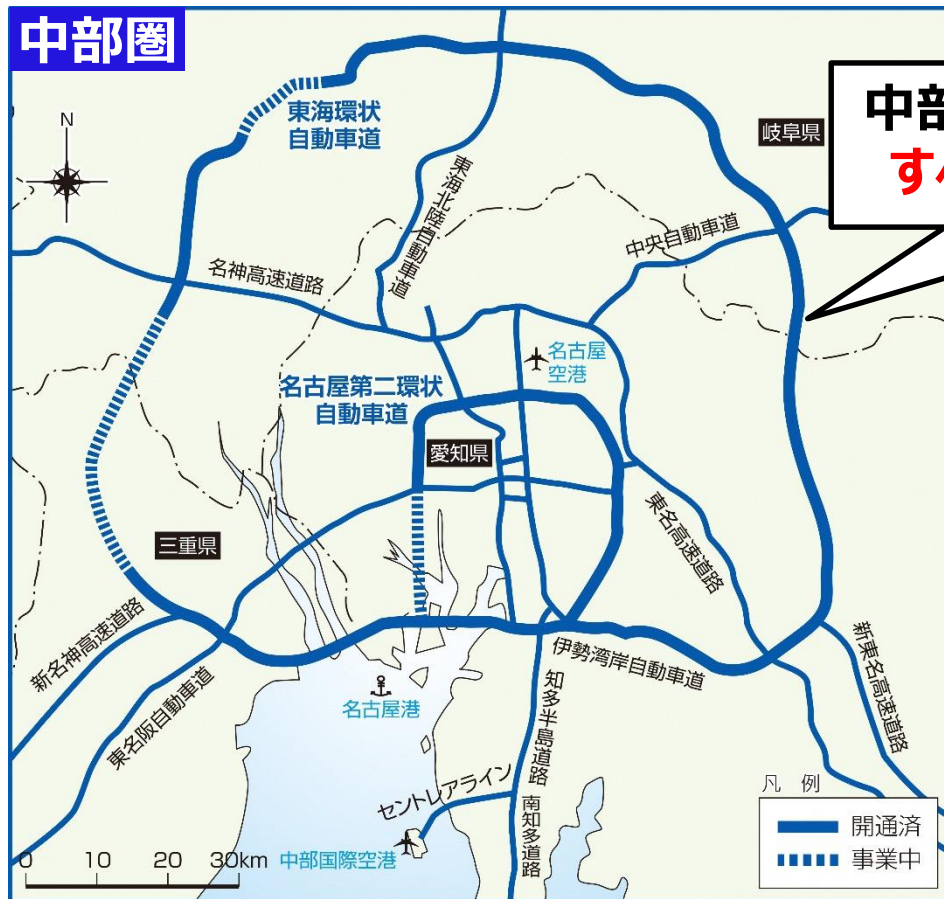
- 開通済
- 事業中
- 調査中
- 国際戦略総合特区
- 我が国の経済成長のエンジンとなる産業・機能の集積拠点
- 世界遺産

(参考) 関西圏・首都圏・中部圏の環状ネットワークの整備状況

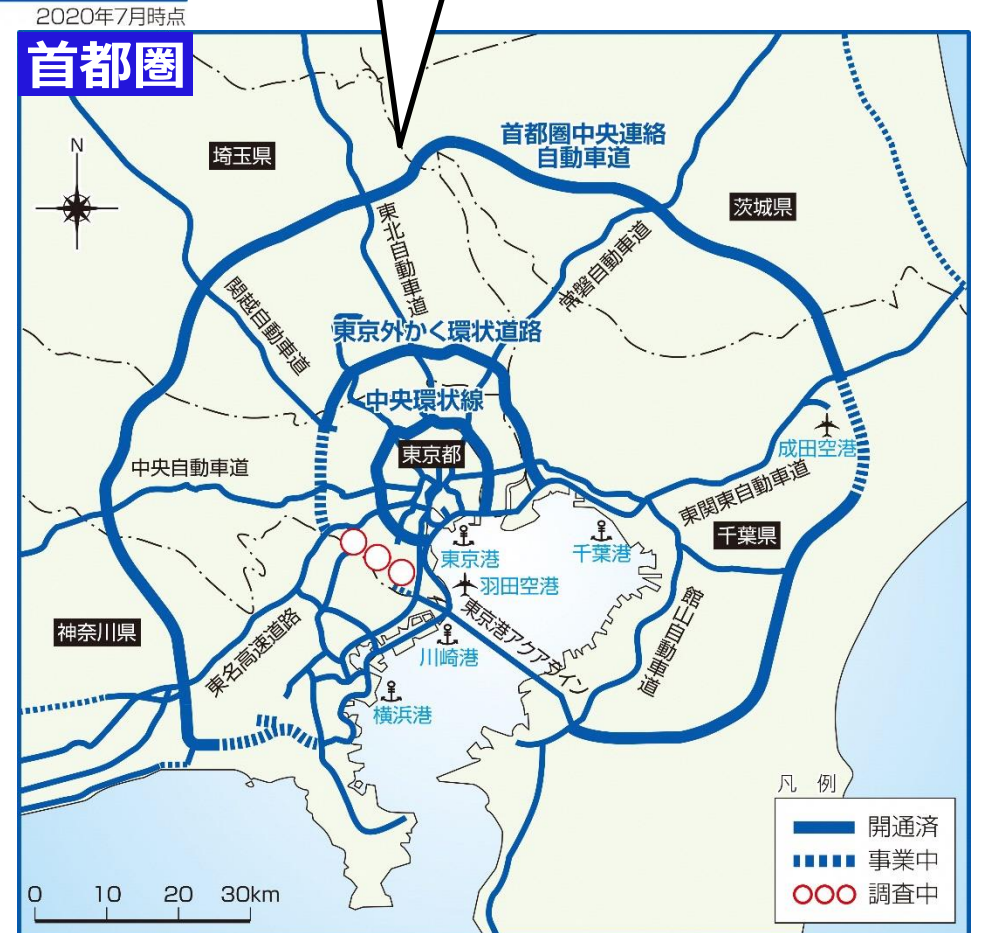


**事業化して間もない路線が多く
環状ネットワーク整備の
目途が立っていない！**

**東京2020
オリンピック・パラリンピック開催に向けて
さらに整備が進められている**



**中部圏の環状ネットワークは
すべて事業着手されている**



2020年7月時点

2020年7月時点